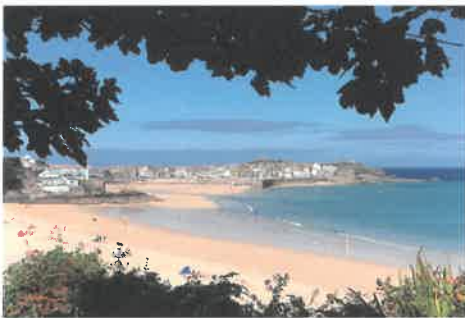


若き日の陶芸家・濱田庄司(1894-1978)がイギリス人陶芸家バーナード・リーチ(1887-1979)とともにイギリス南西部の港町セントアイヴスへ渡り、窯を築いてから100年の節目を迎える2020年。益子町では益子の若手陶芸家育成のため、陶芸家2名をリーチ工房へ派遣する「リーチ工房研修プログラム2020」を実施します。

当プログラムでは3ヶ月弱(2020年5月中旬～8月中旬)の間、セントアイヴスのリーチ工房でスタンダードウェアの製造に携わりながら、自身の作品づくりを行なうことができます。濱田とリーチがともに過ごした歴史的な場所での作陶は、視野の広がりや新たな人との繋がりをもたらす貴重な体験となるはずです。

募集説明会&トークでは、募集要項を配布しプログラムの詳細を説明するほか、リーチ工房での修行や滞在制作経験のある国内の陶芸家をお招きし、自らの体験をお話いただけます。他産地の若手陶芸家と交流する機会でもあります。ご興味のある方であれば、どなたでも参加していただくことができますので、ふるってご参加ください。(要予約 Tel.0285-72-7555 益子陶芸美術館)



セントアイヴスの風景  
© Sarah White



リーチ工房で製作されるスタンダードウェア  
© Sarah White



リーチ工房で制作中の石田和也氏  
© Shannon Bartlett-Smith

## 研修先 / Work Place

リーチ工房(イギリス・セントアイヴス)

The Leach Pottery

住所: Higher Stennack, St Ives, Cornwall TR26 2HE

電話: +44 (0) 1736 799703

## 研修期間 / Duration of Apprenticeship

3ヶ月弱(2020年5月中旬～8月中旬)

## 応募資格及び募集人数 / Qualifications

- (1) 益子町在住または在勤の、プロの若手陶芸家(1979年4月2日以降生まれの方)、2名
- (2) 最低限日常会話程度の英語が理解できる方
- (3) 滞在中の生活費が確保できる方
- (4) 健康状態が良好である方
- (5) 以下の条件に同意できる方
  1. リーチ工房で講演会をおこなうこと
  2. 滞在中の作業風景、生活風景をドキュメントとして記録し(写真、動画など)、定期的に自身のSNSで発信すること
  3. スーツケースに入るサイズの作品1点を持ち帰り、益子国際工芸交流館に寄贈すること  
(その他の作品は本人の自由。展示や販売については本人の希望に委ねます)
  4. 帰国後、益子国際工芸交流館で記念講演会をおこなうこと

## 支援内容 / Content of Support

・渡航費(成田～ロンドン間の往復航空券)



## 益子陶芸美術館 陶芸メッセ・益子

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021

TEL.0285-72-7555 FAX.0285-72-7600

ホームページ <http://www.mashiko-museum.jp/>

最新情報は公式のFacebookとTwitterで発信します。  
Please check our Facebook page and our Twitter account.

